

2018年7月11日 会長の時間 「今更聞けない“いのちキラキラ食栽活動”」

“いのちキラキラ食栽活動”は昨年度のIMで発表された高槻ロータリークラブの目玉プロジェクトでございます。今を去ること10年前の2008年、当時の会長であった本多さんが高槻ロータリークラブで皆様に役立てる事業をしたいと思いつかれました。「三つ子の魂百まで」というし、幼稚園児を対象としたものが良さそうだ。ということで高槻市教育委員会の保育幼稚園課に相談されたそうです。本の読み聞かせじゃありふれているし、野菜を育てるのはどうだろうか？これなら親子で参加できる。野菜の命を育て、感謝して頂く。お陰様の心“いのちキラキラ食栽プロジェクト”の「いのち」は高槻RC、「キラキラ」は幼稚園の提案、「食栽プロジェクト」は高槻RCという具合に共同で命名し、当初の「命」は漢字からひらかなに「食栽」のしよくを植えるから食事の食に置き換え、さいの字も一時は野菜の菜の字を当てたものを更に栽に戻して名前が完成しました。

「いのちキラキラ食栽プロジェクト」は、1人に1鉢・土（土の命）から作る・種から育てる・冬野菜からスタートします。さて、具体的にどんな野菜を育ててもらおうか？となったときに幼稚園から「ブロッコリーはどうですか？」という提案があったそうです。鉢の大きさ、材質を考え、観察用のデジカメを用意し、種子・肥料を揃え、育て方指導員をお願いし、水やり、肥料入れ、害虫駆除をマニュアル化しました。では、毎朝親子で水やりをし、収穫した野菜は幼稚園・家・お弁当で楽しみます。園児達は5歳で野菜を1鉢育てることに憧れとプライドを持っているようです。「いのちキラキラ食栽プロジェクト」の成果は幼稚園会で発表会をし、高槻市教育委員会の保育幼稚園課で毎年冊子にまとめられております。しかし、ロータリークラブでは1つのプロジェクトは3年で終了します。2010-2011年度西田会長が「高槻ロータリークラブの事業としては終了しましたが、評価も高く良いプロジェクトなので有志の協賛活動としましょう」と提案され「いのちキラキラ食栽プロジェクト」が「いのちキラキラ食栽活動」となり有志のドネーションで活動を続けました。

そして2014-2015年度の時、高槻市がこの活動を評価し、市の予算として20万円拠出されるようになったことを受け、当時の川畑会長が「今後は社会奉仕委員会の委員会活動とする」と決められました。それで今では皆様からのニコニコ箱の中から委員会活動費として社会奉仕委員会に活動予算として計上されるに至っております。「いのちキラキラ食栽活動」はロータリーの友に掲載され、全国のロータリアンに知らしめ、英文となり世界中のロータリアンの知る所となりました。IMの時に「公共機関から表彰される事業は数あれど、公共機関から予算を頂く事業は高槻ロータリークラブの「いのち

キラキラ食裁活動」だけである」とご講評頂きました。今後、この事業の詳しいお話や現況などを発表して頂く機会も多いと思いますが、「いのちキラキラ食裁活動」というのはこういう活動であると覚えておいていただきたいと思います。